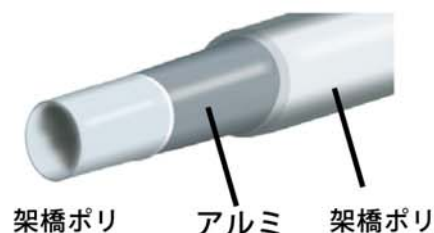


# オリジナル3層管リリース

ヒートポンプユニットの新たな配管素材として、ガス給湯.COMが金属アルミ強化ポリエチレン3層管の発売を開始した。

この配管素材は給湯先進国で知られるドイツから輸入したもので、最近日本で発売された3層管と比べ品質や価格の点で一歩前に出た製品と言える。



以下が一般的な配管と比べたときの当社の見解です。

## 架橋ポリ

施工性の良さから一般的に多く使用されている配管材です。

- ・保護管なしでは紫外線に非常に弱く当社の基準では論外です。
- ・保護をしたとしても、強度と経年劣化の点で不安があり、当社では使用したとしても家屋の中だけでの使用となります。
- ・保護管をしたとしても、経年劣化で保護管が収縮してしまい中の管がむき出しになる可能性が高くヒートポンプユニット配管には向きません。
- ・クリープ現象(パイプに少しでも力が加わり続けると、変形してお湯の流れが悪くなったり破裂してしまう現象)のリスクがあり永年ご利用頂くには不安あります。
- ・臭いエコキュートメーカーの実験でもすでに証明されていますが温度90℃を超えるヒートポンプユニット配管に使用すると樹脂が溶け出し臭いが生じますので、それらのメーカーは既にヒートポンプユニット配管への使用を禁止しています。
- ・継ぎ手の費用が非常に高い。

## カキンホース

軽くて工事中の取り回しの良さから採用している施工店も多い配管材です。

- ・メーカーによっては使用を認めている会社もありますが、安物の粗悪品の流通による事故も近年増加しており、使用する品質への注意を促している。
- ・禁止もしくは勧められないとしているメーカーの見解は臭いがあり、やはり90℃以上のお湯が流れると樹脂が溶け出しクレームは年々増加しているとのことで当社ではヒートポンプユニット配管の使用は不可としています。
- ・また配管コストが高いのも問題のひとつです。

## 銅管

当社では、信用のある工法として使用しています。

- ・他のパイプのような問題はないが多金属と配管を併用した場合の電触だけ注意しなければならない。
- ・古くから飲用配管にも使用され実績がある。
- ・溶接工事を必要とするため素人では施工できないが溶接なので確実性が高い。

## オリジナル3層管

保温性が非常に高く丈夫で長持ちします。

どんな良い工事をしていても部材が粗悪品を使用すると問題が起こってしまいますので信用性、価格、施工性の観点から当社では3層管をお勧めしています。